

令和5年度 第2回桐生市環境先進都市将来構想推進協議会 議事録

1. 日時

令和5年10月17日（火）午後6時30分から午後8時40分まで

2. 場所

桐生市役所 新館5階 501会議室

3. 出席者

(1) 委員（11人）

会 長：天谷 賢児〔群馬大学大学院理工学府 教授〕
副 会 長：近藤 圭子〔きりゅう市民活動推進ネットワーク 理事長〕
委 員：西蘭 大実〔群馬大学共同教育学部 名誉教授〕
藤生 五郎〔桐生商工会議所 副会頭〕
茂木 理亨〔桐生商店連盟協同組合 副理事長〕
星野 宏之〔新田みどり農業協同組合 総務部長〕
佐羽 宏之〔2015年からの生活交通をつくる会 会長〕
小島 由美〔未来創生塾 副塾長〕
坂本久美子〔桐生市女性人材リスト（農業委員・花き栽培）〕
中野 久美〔桐生市女性人材リスト（建築設計）〕
村上 恵理〔桐生瓦斯株式会社営業部 次長兼特需課長〕
(欠席者) 根津紀久雄〔特定非営利活動法人北関東産官学研究会 会長〕
新井 悠大〔桐生広域森林組合 業務部部長〕
今泉 芳雄〔桐生市家畜自衛防疫協議会 会長〕

(2) 事務局（5人）

(環境課)

高橋 環境課長

金子 環境都市推進係長

高橋 主任

古泉 主事

(企画課)

島田 大学連携推進担当係長

(※SDGs未来都市について説明後途中退室)

4. 議題

1. SDGs未来都市について
2. 『ゆっくりズムのまち桐生』ロゴマークについて
3. 令和5年度ワーキンググループの活動について
4. 桐生市環境先進都市将来構想の実績について

その他 「未来の環境の集い」について

5. 議事要旨等

・SDGs未来都市について

企画課島田大学連携推進担当係長がSDGs未来都市選定の経緯について説明を行った。

・『ゆっくりリズムのまち桐生』ロゴマークについて

令和5年8月10日から令和5年9月29日まで公募を行った『ゆっくりリズムのまち桐生』ロゴマークのデザイン選定を行った。選定については協議会委員の投票とし、デザインNo.1の作品が選定された。11月25日開催の「未来の環境の集い」において受賞者に表彰し、お披露目を行う。

・令和5年度ワーキンググループの活動について

令和5年度のワーキンググループ活動及び次年度以降の活動について意見交換を行った。

・桐生市環境先進都市将来構想の実績について

令和4年度桐生市環境先進都市将来構想追補版における実績報告、令和4年度 桐生市環境先進都市将来構想実施計画における実績報告及び令和5年度桐生市環境先進都市将来構想実施計画における中間報告を行った。

6. 委員意見（質疑応答）

【議題1】SDG s 未来都市について

【会 長】

これまでの市の活動が盛り込まれただけでなく、様々な団体が行ってきたことが組み合わされている。まとめ方が良く、アピールできる内容となっていると思う。SDG s 未来都市に選定されたことはすばらしいことで、市が持っている底力を発揮することができたと思う。

【委 員】

令和2年11月に『ゆっくりズムのまち桐生』を宣言しているのですが、内容に追加してほしい。SDG s とゆっくりズムは違うものだと思っている人もいます。ローマクラブの『成長の限界』からくる宝田先生の考え方の中でSDG s と重要な繋がりがあがると思う。

【会 長】

ゆっくりズムの概念はこの協議会でできたものなので生かしていただきたい。

【委 員】

稼ぐまちとあるが、稼いだものがザルで水を汲むように漏れ出ているのが良くないと思う。せっかく稼いだお金でガソリンを買ったりすると意味が無い。エネルギーの購入として外に出していることが無駄である。地域でエネルギーを回す仕組みが重要である。稼ぐまちから漏らさないまちへというイメージで書くと良いと思う。

【会 長】

地域内で経済的なものを循環させるのも重要である。

【委 員】

群馬県もSDG s 未来都市に選定されたのか。

【事務局】

群馬県もSDG s 未来都市に選定されている。未来都市の選定は、都道府県や市町村単位で申請できる。複数の都市で連携することもできる。大阪府と大阪市は共同で申請している。

【委 員】

群馬県全体がSDG s 未来都市になったことで良いのか。桐生市と内容がかぶっていないのか。

【事務局】

群馬県としては県内全体がカバーされたものとなり、注力するところはNETSUGENの活用や、県民とのイノベーション創出がメインとなっている。桐生市の場合は、さらにどれだけSDG s に取り組めるかを記載している。

【委 員】

稼ぐまちとするイメージは大企業を誘致することなのか。

【事務局】

企業誘致の側面よりもゆっくりズムに重きを置いているので、地域の活力を育てる取組がメインとなる。

【委 員】

自分が若いときは、末広町・仲町は活気にあふれていたが今は人がいない。活性化する

には経済が重要になってくる。若者や子育て世代が重要であり、ここに住みたいと思わせることが重要である。そのためには経済が活発化していることが重要である。また、市の援助も必要と感じる。税金が減免されることや、子育て支援が充実しているなどのメリットがあれば良いと思う。

【事務局】

企業誘致の側面も重要と捉えている。SDG s 未来都市の計画と異なってくるが、市としてはそのような面でも推進していく。

【会 長】

一方では経済が縮小していく現代社会の中で、昔の発展モデルのように描きづらいこともあると思う。

【委 員】

企業を誘致しても、本社がないと稼いだものが外へ出てしまい意味がない。そのような経済活動は地域内で回さないとならない。価値観の転換ができないと従来と同じことになってしまう。今世界では戦争が起こっており、資源争奪・エネルギー争奪が起こる可能性がある。昭和 48 年のオイルショックの様なことも起こりうる可能性がある。そのような混乱が生じて、桐生市民は惑わされない価値観の転換がなされていることが重要と感じる。SDG s 未来都市の官民共創プラットフォームを利用して、市民が行動転換をすれば『ゆっくりズムのまち桐生』として SDG s 未来都市になれるかもしれない。ここが一番大事なポイントだと思う。

【会 長】

難しい時代になってきているが、地域の資源である農業・林業・市内の良いところを組み合わせて、今回のこのようなものを起爆剤に活気のある未来都市ができれば良いと思う。この協議会で議論してきたことも盛り込まれている。市民の方と一緒にやってきたゆいの活動や大学との連携も盛り込まれていると思う。

【会 長】

良いことをやっているのもう少しアピールできれば良いと思う。市の総合計画も野心的な計画にしても良いと感じる。CO₂ 排出量の指標が市の事務事業から排出される CO₂ 排出量の項目だけである。群馬県では 2030 年度に 50%、2050 年にカーボンニュートラルを目指している。この SDG s 未来都市の提案書があるのでもう少し活かしても良いと感じる。

【委 員】

人口減少の問題について皆さん苦慮されていると思う。人口が減ってしまうと何も進まなくなってしまうと思う。

【会 長】

定住政策も重要なポイントであると感じる。これがスタートとなって次に繋がっていけば良いと思う。補助金があるわけではないが、目標を定めたということで、これを使って次に繋げていきたい。

【事務局】

今年採択されたので次年度以降どのように進めていくかが課題である。

【会 長】

最後のページにある事業のイメージ図のとおり、前回のシンポジウムで委員からお話いただいた超小型 EV を生かした低炭素型のまちや再エネが導入された住みやすいまちになることによって、その結果人が増えてくると思う。こういうことに当協議会も寄与できれば良いと感じる。

【議題 2】『ゆっくりズムのまち桐生』ロゴマークについて

【会 長】

前回・前々回の会議において委員から意見のあった『ゆっくりズムのまち桐生』ロゴマークの作成について、今後の様々な取組にロゴマークをつけていく意見があった。市の方で募集要項を策定し、このたび募集をかけた。本日はこの作品の中から選定を行いたい。

【委 員】

ゆっくりズムのまちのロゴマークなので、ゆっくりズムのまちの文字を目立たせると良いと思う。使われる想定も様々だと思うので文字の大きさも重要となる。

【委 員】

いろいろな場面で使えるものが良いと思う。ゆっくりズムの象徴として MAYU があるのだと思う。

【委 員】

桐生ファンクラブに入ると毎年グッズがもらえる。ロゴをグッズ化したり、T シャツにロゴを入れるとかわいいなどの基準で選ぶのも良いと思う。

【委 員】

選考方法として 1 人 1 票ではなく、3 票まで入れて多いものから順位つけて選べば良いと思う。

【会 長】

選定は、投票用紙を用いた投票を行う。1 人 3 作品までデザインを選ぶことができることとする。

【会 長】

投票の結果、順位が 1 番だったのが、デザイン No. 1 の 8 票でした。2 番目がデザイン No. 11 で 5 票、3 番目がデザイン No. 9 で 4 票となった。結果、デザイン No. 1 の作品を選定する。

【事務局】

発表が 11 月 25 日開催の『未来の環境の集い』を予定しているため、結果については注意していただきたい。

【議題 3】令和 5 年度ワーキンググループの活動について

【委 員】

サルビアは水やりが負担となる。水やりを小まめにできた所は咲かせることができた。新里駅で市民に配った苗がどのようなようになったか追跡調査ができれば良いと思う。

【会 長】

梅田地域に住んでいる方でサルビアをいっぱい植えたいという方がいる。

【委 員】

サルビアの苗を配る時に栽培方法も合わせて配った方が良い。育て方がわからないと思う。

【委 員】

市役所の花壇でサルビア苗を植栽していた際に、通行人から配布しているのか問い合わせを受けた。ニーズがあると思うので、ふれあいメール等で情報を流し、サルビア苗を配布するのも良いと思う。

【会 長】

サルビア植栽事業は継続していくことが良いと思う。協力してくれた人達が集まって育て方のノウハウを蓄積していく事も良いと思う。

【委 員】

苗の植え方は、植える前に穴を掘り、その穴に水をまき、その中に苗を入れ、土を被せまた水をやると根の付きが良い。サルビアの普及として、サルビアの日、サルビアの月を制定すると啓発ができて良いと思う。

【委 員】

市民の中で循環させると良いと思う。苗を育てるグループとして里親制度をつくり市民募集しても良いと思う。また、観光客への PR として水沼駅周辺に植えても良いと思う。公民館への配布数が少ないと感じる。自治会や町会が下部組織にあるので、多く配布しても良いと思う。

【委 員】

花は植えこむ場所に養分がないと育たない。サルビアは肥料が無くても育つと言われるが、土に養分が無いと育たない。養土も予算要求いただきたい。

【委 員】

ロゴマークができるのでグッズを製作しても良いと思う。T シャツは高いので、ワッペンを製作したら良いと思う。シールより捨てにくいと感じる。

【委 員】

市で製作できなくても観光物産協会で作成して販売することもできると思う。

【佐羽委員】

グッズ販売をした場合に収益を種代に充てることもできると思う。

【会 長】

最小限の部分での予算確保はしていただきたい。やったらやりっぱなしではなくつなげていくことが大切である。

【委 員】

サルビアの栽培をコンテスト方式にすると良いと思う。種だけ配布し、その後の出来栄を競うことなど考えられる。

【委 員】

以前黒保根地区の育成会で植栽を実施した事例として、地域で空いている土地を利用し、花壇の枠となる丸太や、土、肥料など協力者から頂いて活動を行ったことがある。育成会

は地域のつながりがある。

【会 長】

サルビアを植えるだけではなく、きっかけとして地域の農業者、林業者、ボランティア団体など様々な関係者が繋がるのがゆっくりズムのまちだと感じる。今回のSDGs未来都市の提案書にも人がつながって循環することとされているので検討していければと思う。

【委 員】

苗を買う予算はないのか。

【事務局】

苗は種以上の値段になってしまうため、本年度は職員が種から育てた。

【委 員】

苗の予算は付けた方がよい。

【委 員】

苗を育てるには手間がかかるのでどうしても高額になってしまう。本職でも片手間ではできない。

【委 員】

同じ場所にまた植える場合には土壌の改良が必要となる。連作障害がおこると思われる。

【会 長】

課題は多いがうまく乗り越えられる仕組みづくりが必要となる。つながらない限りやっけていても損をしてしまう。

【委 員】

市職員の人件費もコストになるのでそれらも考えなくてはならない。

【会 長】

次年度予算に「未来の環境の集い」開催時の講師謝礼を計上していただきたい。

【会 長】

毎年『ゆっくりズムのまち桐生』の活動を少しずつ広げていきたい。様々な活動をされている方たちの協力も考えられる。例えば、梅田地区で耕作放棄地を活用して里山再生の取り組みを行っている方たちもいる。商店街と小型EVを組み合わせた取り組みも考えられる。

【委 員】

桐生市環境先進都市将来構想実施計画の実績で、予算がゼロの項目については、実績無し項目が多い。予算が無くてもできる事業を考えた方がよい。市民が活動しない限り、市でできることにも限りがある。市の予算が無くても市民が活動したことによって実績が残せると思う。まち歩き事業も新規でやるのは難しいので、既に計画されている事業に相乗るのも良いと思う。市内のまち歩きとして、上毛電鉄が沿線のまち歩きイベントを毎月開催しており、近々では桐生方面でまち歩きイベントが予定されている。このようなイベントをPRするだけでも効果が出ると思う。あるものを使って考えると良いと思う。

【委 員】

群馬県でもスタンプラリーを今現在実施している。達成すると記念品が貰える。

【委 員】

商工会議所（ファッションタウン桐生推進協議会まちづくり委員会）でわがまち風景賞

まち歩きツアーを実施している。人気がありすぐに埋まってしまう。こういうイベントにも相乗りできれば良いと感じる。

【会 長】

まち歩きイベントの情報を集めてシステマチックにしていくと良いと感じる。

【委 員】

委員で情報を持っている方は市に情報を渡して共有して欲しい。

【会 長】

11月25日に「未来の環境の集い」があるため、その時に情報発信ができれば良いと思う。

【議題4】 桐生市環境先進都市将来構想の実績について

【委 員】

省エネ家電の補助金について、件数と補助金額の他、二酸化炭素排出量がどれだけ削減できたかなど定量的な成果を出しておくと思う。

【事 務 局】

現在算定中のため次回報告いたしたい。

【委 員】

補助事業については、受付開始時期を年1回ではなく分散させてほしい。その時に申請できない人もいる。

【事 務 局】

補助金の実施方法は色々あるが、省エネ家電の補助金の場合、混乱を避けるため今回は1回で実施させていただいた。

【委 員】

MAYUを利用して既存交通との協力が必要となってくるが、MAYUは持続性が問題となる。桐生再生の車両が老朽化しているため、次の手立てを考えないと持続していくのが難しいと思われる。わたらせ渓谷鐵道や上毛電鉄は法定協議会が今後できるので持続していけるが、MAYUのような3次交通は最初に破綻してしまう恐れがある。

【事 務 局】

交通ビジョン推進室の中では検討しているようである。

【その他】「未来の環境の集い」について

【会 長】

「未来の環境の集い」を本年度も11月25日に開催する。場所は、美喜仁桐生文化会館4階スカイホールで開催する。基調講演は、東北大学の中田先生にお願いさせていただいた。中田先生は、地域の再エネがどのように使われているか、また地域から出てしまうお金がどれくらいあるのかを研究している。その他に、昨年同様ゆっくりズムに関連し様々な活動をされている方に参加いただくことを考えている。本日企画課から説明があったSDGs未来都市選定の話も市民の方に聞いて欲しいと思う。

【委員】

未来創生塾では、MAYUを使った日本遺産ガイドツアーを子供達が企画し実施している。昨年引き続き本年もこの成果を発表できればと思う。

【会長】

子供達の発表も取り入れていきたい。

— 以上 —